

年度 2007 学期 前期	曜日・校時 水4	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	人間の科学 (心の発達) Human Sciences (development of mind)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 人間科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 小島道生 / Eメールアドレス: <a href="mailto:mojima@net.nagasaki-u.ac.jp">mojima@net.nagasaki-u.ac.jp</a> / 研究室: 教育学部 517 / オフィスアワー: 金曜日午後			
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>授業のねらい: 乳幼児期から青年期にわたる人の心の発達について学習する。特に、社会性の発達と障害について理解を深める。</p> <p>授業方法: パワーポイント、ビデオなどを用いた講義形式となる。また、随時理解を確認するための小テストを実施する。</p> <p>授業到達目標: 乳幼児期から青年期にわたる社会性の発達とその障害について、説明ができるようになる。</p>			
<p>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>授業内容(概要)</p> <p>乳幼児期から青年期にわたる人の心の発達について、知的機能、対人関係、言語・コミュニケーション、道徳性を中心に説明する。また、発達の基礎的な理論と障害についても講義する。</p> <p>第1回 オリエンテーション 人の心とは?</p> <p>第2回 知的機能とは(1)</p> <p>第3回 知的機能とは(2)</p> <p>第4回 対人関係の発達(1)</p> <p>第5回 対人関係の発達(2)</p> <p>第6回 言語・コミュニケーションの発達(1)</p> <p>第7回 言語・コミュニケーションの発達(2)</p> <p>第8回 道徳性の発達(1)</p> <p>第9回 道徳性の発達(2)</p> <p>第10回 発達の理論(1)</p> <p>第11回 発達の理論(2)</p> <p>第12回 発達と障害(1)</p> <p>第13回 発達と障害(2)</p> <p>第14回 発達と障害(3)</p> <p>第15回 定期試験</p>			
キーワード	こころ、発達、障害、社会性		
教科書・教材・参考書	随時紹介していく。		
成績評価の方法・基準等	授業への貢献度(約 35%)、小テスト(約 15%)、最終の定期試験(約 50%)の総合評価が 60 点以上。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ / 学習・教育目標			
備考(準備学習等)	各自、ノートを準備しておくこと。		